

人とつながることが楽しくなる講義でした

虫の目、鳥の目、歴史の目、大変興味深く面白く聞かせていただきました。4月から聞きたいと思います。

これまでの振り返りのお話しでは、「ア！そうだった」と再度、新しい気づきをさせていただきました。

勤め始めは特別養護老人ホームの生活指導員でした。

入所されている方が楽しそうでなく、なんとか・・・と思い、地域の住民として、町内会に加入できないか、また、子どもたちを見ているときの顔がとても良いので、施設内の廊下を通学路にできないかと教育委員会に言いに行ったことがあります。が、まだ、昭和60年代だったこともあり(今でもそうか・・・)門前払いでした。

講義に来てくださった国立民族学博物館の広瀬先生を、全国の福祉用具の研修会にお呼びし、つながりができたことにも、お礼もうしあげます。

人とつながることが楽しくなる講義でした。ありがとうございました。

23S1134 中村健治